

動画制作機器を用いた教育実践の始まりに関する考察

A Study on the beginning of educational practice using moving image production equipment

長谷 海平^{*1}, 筒井 武文^{*2}
Kaihei HASE^{*1}, Takefumi TSUTSUI^{*2}

^{*1} 京都大学

^{*1}Kyoto University

^{*2} 東京藝術大学

^{*2} Tokyo University of the Arts

Email: hase.kaihei.4a@kyoto-u.ac.jp

あらまし：カメラなどの動画制作機器を用いた教育実践は、専門家の育成を目的とした場合、映画の誕生期より取り組まれていることが明らかになっている。そして、専門家の育成を目的としない動画制作を通じた教育実践は、先行研究より、その始まりは1960年代以後であると示される傾向にある。

本研究では、1960年代以前に専門家の育成を目的としない動画制作を通じた教育実践が行われた可能性を検証し、考察を行う。

キーワード：映像教育，デバイス，映像制作，カメラ，

1. はじめに

動画の制作機器を用いた教育の実践は、映画の装置が発明された頃から取り組まれている。例えば、「映画の父」とされるリュミエール兄弟がその機器を公開したのは1895年のこととされているが、同年には弟のルイ・リュミエールによって命じられたジョルジュ・ミシェル・コワサックが興行用の映画制作に従事する「スタッフの教育」⁽¹⁾に取り組み始めたこととされている。このように専門家の育成を目的とする動画の制作機器を用いた教育の実践はその歴史の始まりは明瞭である。

今日では中等学校や高等学校などでの取り組みとしてビデオカメラやスマートフォンの録画機能、モバイル端末の録画機能など、動画の制作機器を用いた教育実践が少なからず取り組まれており、その手法だけ取り上げれば珍しいものではない⁽²⁾。

では、このように専門家の育成を目的としない場合について、動画制作機器を用いた教育実践の始まりはいつ頃であろうか。この疑問について調査・検証を行なった先行研究はいくつか存在し、共通する見解が示されている。しかしながら、その主張には再検証を要する点が存在する。

2. 先行研究

動画制作専門家の育成を目的としない中等学校や高等学校などでの動画の制作機器を用いた教育の始まりについて、主にふたつの観点から研究が行われている。ビジュアル・リテラシー研究の観点と、メディア・リテラシー研究の観点である。

これらの先行研究によると中等学校や高等学校などでの動画制作機器を用いた実践の始まりの時期は機器の発展の時期と関係が深いと述べられており、

アマチュアでも扱えるカメラなどの機器が登場し一般化し始めた、1960年代の初頭がその時期であるとされている。

2.1 動画の制作機器を用いたビジュアル・リテラシー実践の始まり

Mullen の研究⁽³⁾によればビジュアル・リテラシーとして初めて動画制作を通じた教育の実践を行なった人物はアメリカの高校教師 Sullivan であるとされている。この実践は1965年に公用語（英語）の授業として取り組みられ、8mm フィルムカメラを用いて行われたものである。実践の内容や考察について Sullivan 自身が報告⁽⁴⁾を残しており、「映画の制作を学ぶことは日常的な映画表現の能力を育むことになる」と実践の意図を述べている。Mullen は Sullivan の残したそのほかの記録や報告と併せて考察を行い、1965年に行われた Sullivan の取り組みこそがビジュアル・リテラシーとして最初期の動画制作を通じた教育者（パイオニア）であると主張している。

2.2 動画の制作機器を用いたメディア・リテラシー実践の始まり

メディア・リテラシー研究においても、動画の制作機器を用いた実践の始まりは、ビジュアル・リテラシー研究と同様に1960年代であるとされている。

例えば、Moody はメディア・リテラシーの観点から1960年代中盤から1970年代中盤にかけてアメリカのニューヨーク州ウェストチェスター群の公立学校で実践された実写動画制作をその最初期のものとしている⁽⁵⁾。Hobbs もまた1960年代が動画の制作機器を用いた教育実践を取り組み始めた時期としており、その社会的な背景としてポータブルなビデオ

カメラが普及したためである⁽⁶⁾と述べている。また、Fedorovによればアメリカで1960年代に動画制作を通じた教育実践がはじまった背景には、実写動画を制作する上で比較的安価でコンパクトな8mmなどのフィルムやカメラ、現像に必要な薬品が出回ったことなどが挙げられる指摘している⁽⁷⁾。

Mullenの研究でも8mmフィルムとカメラが制作を通じたビジュアル・リテラシーの始まりに用いられていたことから、1960年代ごろの絵動画制作機器の発展が、中等学校や高等学校などの普通教育における動画の制作機器を用いた教育を促したとする観点は状況からすると正しい主張のように見える。

3. カメラの普及時期と先行研究への疑問

家庭用のビデオカメラが登場したのは1965年であり、この年に「世界で初めて家庭用として実用化されたVTR」⁽⁸⁾としてソニー株式会社のCV-2000が登場した。このことから、Hobbsが述べるように1960年代を動画の制作機器を用いた教育実践の始まりの時期とする先行研究の主張は一応正しいように見える。しかし、8mmフィルムカメラの登場は1932年のことである⁽⁹⁾。また、8mmフィルムはアマチュア・家庭用として登場している。もし、アマチュア向け動画制作機器の登場や普及がその始まりに重要な意味を持つのであれば、1960年以前にも普通教育の場で動画制作機器を扱った教育実践を可能とする環境は存在していたと考えられる。

機器の登場とその機器が社会に馴染む時期が異なり、結果として登場より30年ほど遅れて、8mmフィルムやカメラを用いた教育実践が普通教育の中で扱われ始めた可能性はある。しかし、これは推測に過ぎず、実際にはいかなる状況であったのか疑問が残る。

4. 1960年以前の教育機関における動画制作機器の普及状況

Alvinは1939年⁽¹⁰⁾と1945年⁽¹¹⁾にアメリカ、イリノイ州におけるオーディオ・ビジュアル機器の教育環境への普及について調査を行い、その結果を残している。この報告によれば、1940年前後には15%程度の中等学校や高等学校などいわゆる普通教育機関にフィルムカメラが備わっていたことが示されている。また、Alvinは学生と機器の関係性についても調査を行っており、半数程度の回答者がフィルム関連機器を学生に操作させていたことが示されている。

それら教育機関に配置されていたカメラが8mmフィルムカメラであるか否かは不明である。しかし、少なくとも当時、一定割合の教師や学生の近くに動画制作機器が存在しており、それらは学生でも扱えるものであったと見なされていたのは明らかである。

このことから、1960年代以前に動画制作機器を用いた教育実践を行う環境が存在していたのであり、

1960年代の新しい動画制作機器の登場や普及が動画制作機器を用いた教育実践を促したとする先行研究の主張は不確かなものであると言える。

5. まとめと今後の課題

本研究の結果から、先行研究の示す専門家の育成を目的としない、動画制作機器を用いた教育実践の始まりを促したのは、1960年代ごろに登場した動画制作機器や機器の普及状況であると断言できないことが明らかになった。また、この主張は同時に動画制作機器を用いた教育実践の始まりの時期が1960年代ではない可能性があることも示している。しかし、本研究が示すことができたのはあくまでもその可能性であり、事実を示すにはさらなる調査を必要とする。

今後は1960年代以前に本研究が対象とする実践が行われていたか否かについて、特に実践環境が整っていたアメリカの事例を中心に調査し、本研究で示された可能性の検証に取り組む。

謝 辞

本研究はJSPS科研費18K02819の助成を受けたものです。

参考文献

- (1) ジョルジュ・サドゥール、村山匡一郎・出口丈人訳：“世界映画全史 2 -映画の発明 初期の見世物-”，国書刊行会，p86（1992）
- (2) 下口美帆、長谷海平，“雑誌『教育美術』に見る映像メディア表現 -映像制作を用いた実践の概観とその意義-”，こども教育研究 第1号，pp.93-104，（2014）
- (3) MULLEN, Lawrence., “Sister Bede Sullivan: Pioneer of Visual Literacy”, *Journal of Visual Literacy*, 24 (2), pp.99-120 (2004)
- (4) SULLIVAN, Bede., "Making Movies in High School", *The English Journal*, 54 (5), pp. 433-435 (1965)
- (5) Moody, K. *The Children of Telstar. Early Experiments in School Television Production*. New York: Vantage Press (1999)
- (6) HOBBS, Renee., JENSEN, Amy., “The past, present, and future of media literacy education”, *Journal of media literacy education*, 1 (1), p.3, (2009)
- (7) Fedorov, Alexander. "Media education around the world: Brief history." *Acta Didactica Napocensia*, 1 (2), p57 (2008)
- (8) 産業技術史資料情報センター，「2011年度登録『重要科学技術史資料（未来技術遺産）』」，<http://sts.kahaku.go.jp/material/index.html>（参照2019.6.15）
- (9) Kodak, Milestones, <https://www.kodak.com/us/en/corp/aboutus/heritage/milestones/default.htm>（参照2019.6.15）
- (10) ALVIN B. ROBERTS., “Status of Visual Instruction by Projection in Illinois”, *Educational Screen*, pp.239-241 and 267 (1939)
- (11) ALVIN B. ROBERTS., “Trends in Audio-Visual Instruction in Illinois”, *Educational Screen*, pp.185-187 and 196 (1945)